

## 春野本部・大庭さん 青年の主張で最優秀賞

11月6日、香川県で中国・四国地区JA青年大会が開かれ、地区代表選考会に当たる「JA青年の主張」で、JA高知県青年部春野本部の大庭啓太さんが最優秀賞に選ばれました。

大庭さんは「苦しいからこそ」と題し、独立就農した苦労や、就農後は多忙で地域の集まりに参加できずにいた時、青壮年部の支えで再び活動に参加するようになった経緯を発表。身振り手振りを交え、大きな声での発表が評価されました。また、組織活動実績発表では、土佐香美本部夜須支部の広岡勉さんが優秀賞を受賞しました。



最優秀賞に輝いた大庭さん

## フォロークャンペーンを展開 土佐の豊穣祭2019

11月9・10日、高知市の中央公園で「土佐の豊穣祭2019高知市会場」が開かれ、県内JAなど34団体が県内外の来場者に県内の農畜産物やご当地グルメをPRしました。

JAグループ高知は「JA収穫祭」として出店。土佐あかうしの牛串やユズの加工品など地元ならではの味で来場者をもてなしました。

JA高知県のPRブースでは、LINEやインスタグラムのフォロークャンペーンを展開。その場でフォローすると、豪華景品が当たるガラガラ抽選会を行い、多くの人で賑わいました。



来場者にフォローをお願いするJA職員（左）

## 2020年度 JA高知県職員募集

あぐりのチカラ  
募集中!



### ■応募資格 大学・大学院・短大・専門学校新卒者、既卒者

※長期勤続によるキャリア形成を図る観点から、40歳未満の若年者等を募集します。

※今年度に当組合の採用試験を受験された方、現在当組合の限定一般職員、契約職員の方は応募できません。

### ■募集人員 ①採用形態：正職員 ②募集職種：総合職

③勤務対象地区：安芸地区、高西地区、幡多地区

### ■受付期間 2019年11月18日(月)～12月27日(金)

### ■採用試験 ①試験科目：書類選考、適性検査、面接等 ②試験日程：2020年1月11日(土)

お問い合わせは、JA高知県 組織人事部教育人事課まで  
TEL：088-894-5612 (担当：山本)

詳細はJA高知県ホームページを  
ご参照ください。→



羽根事業所管内より

### 犬猫3匹でにぎやかだよ

トムちゃん(5)  
飼い主：佐川 繁子さん

繁子さんのお家で、猫のチビちゃんと犬のジミーくんとにぎやかに暮らすトムちゃん。チビちゃんとはいつも毛づくろいし合うなど、とっても仲よし。ときどき、ジミーくんを踏んづけてしまうこともあるけど、家族なのでへっちゃらです。「いつも誰と話しゆう？」とご近所から言われるぐらい、3匹のかわいい家族が繁子さんの大切な話し相手です。



東川事業所管内より

### リズムに合わせて踊るのが大好き♪

島津 茜音ちゃん(2)

よく食べ、よく動き、よく笑う、元気いっぱいの茜音ちゃん。いつも、父・秀登さんと母・美幸さんを笑わせてくれます。

テレビのこども番組を見ながら、リズムに合わせて踊るのが大好き！NHKの「みんなの体操」もお気に入りです。アンパンマンが好きで、おもちゃや絵本でもよく遊びます。

“りんごや梨をこっそり食卓から取り、丸かじりしていた”というかわいいエピソードも。秀登さんと美幸さんをびっくりさせました。いっぱい食べて、すくすく大きくなあれ♪



安芸  
地区

## から こんにちは 今月の○○ 気になる人

安田支所管内より

### ダイワ鮎マスターズ2015チャンピオン

有岡 只祐さん(43)

365日のうち300日は釣りに行くという只祐さん。川が解禁になれば鮎の友釣りを、川が終わればルアーフィッシングを楽しみます。只祐さんの本業は、ナス農家。朝夕はハウスへ、昼間は海や川へと繰り出します。

釣りを始めたのは、小学校4年生のとき。すぐ近くに安田川があり、周りの大人も釣り人ばかり。「竿から伝わる、魚からの刺激がたまらない」とすぐにのめり込んでいきました。

27歳から、釣り具メーカー「DAIWA」と鮎の魚種のテスター契約を結んでいます。業者らと何度もテストと話し合いを重ね、釣り道具を製品化します。「完成した製品が、友釣りしている人たちに喜んでもらえたら嬉しいし、意見は次に活かせる」と大きなやりがいを感じています。



奈半利支所管内より

### 農業で奈半利町を盛り上げたい

伊藤 三晃さん(32)

奈半利町の地域おこし協力隊として、集落営農センター「なはりの郷」の事業でナスを栽培する三晃さん。20代の頃から農業に興味があり、昨年末まで旧JA土佐あきの職員として4年間働き、営農企画課で畜産などを担当していました。

今年から奈半利町のナス農家のもとで栽培を学び、7月から「なはりの郷」のハウスへ入りました。完成したばかりのハウスだったので、細かな設備の設置や土づくりなどから携わることができて勉強にもなりました。初めての収穫に追われる毎日ですが、「ナスが元気やったら、自分も元気をもらえる」と念願だった農業の仕事を楽しています。

「お世話になった奈半利町で、ナス農家として独立したい」と農業でこの町を盛り上げたいと願っています。



# できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



言葉を交わしながら収穫作業を手伝う横山さん④

## 1 あき支所

### 就農支援サポーター確保 支援体制のさらなる強化へ

安芸市農福連携研究会は、障害者や引きこもりの人の農業雇用に促進させようと、就農支援サポーター制度を導入しました。サポーターは働く障害者等の心のケアや、安心して働ける職場づくりを生産者にアドバイスしていきます。

サポーターを務めるJA職員横山木実子さんは、障害者等に寄り添い、相談に乗りながら一緒に農作業を行います。今後は、農作業に就く前から不安点などを共有し、定着を目指します。生産者側のサポートも行い、障害者の特性に沿った作業内容か、危険がないか、雇用するにあたっての向き合い方などを助言します。

横山さんは「障害者にとっても、まずいってしまう内容はそれぞれ違う。生産者との相性や障害者の特性を見極め、みんなが楽しく働ける社会を築きたい」と思いを語ります。

営農企画課の小松淳課長は「今までは研究会メンバーが個別に対応してきた。サポーターが加わることによって、支援が点から線へとつながり、農福連携をさらに拡大させたい」と話しました。



「そばの花きれい」と笑みがこぼれる来場者

## 2 吉良川支所

### 満開のソバの花にうっとり 初の「そば花まつり」開催

室戸市の農事組合法人庄毛ファームは10月27日、吉良川町で初の「そば花まつり」を開きました。市内外から来場者が訪れ、約15アールの畑で満開のソバの花を楽しみました。

同町産のそばを使ったかけそばとおろしそばを販売し、手打ちの実演も披露。市外からの来場者は「ソバの花を見ながら食べるそばは、とっても美味しい」「ソバの花も手打ちも初めて見た。吉良川町にこんな場所があったとは」と笑顔で話しました。

同ファームの岩川日出夫組長は「ソバ畑は珍しく、多くの人に喜んでもらえた。吉良川町のそばのPRに力を入れ、地域を盛り上げていきたい」と強調します。

同ファームは、2016年からソバ栽培に取り組み、今年で4作目。収穫したソバは乾燥、脱穀などの作業後、石臼をひいてそば粉へ。手打ちそばを作り、主に道の駅・キラメッセ室戸の「楽市」で販売しています。

## 3 奈半利支所

### 土佐あかうしと触れ合い、味わう



聴診器を当てて牛の鼓動を聴く児童

安芸地区肉用牛部会と奈半利畜産組合は10月30日、奈半利町で土佐あかうしとの触れ合い体験を開き、奈半利小学校の5年生17人が食と命の大切さを学びました。児童は、子牛の脇腹へ聴診器を当て鼓動を確かめ、体をなでて触れ合いました。BQではお肉を味わい、児童は「今度からお肉を食べるときは、牛に、ありがとう」と思いながら食べたい」と命の尊さを感じていました。

竹崎稔部会長は「命あるものを大切に食べることを学んでほしい」と話しました。

## 4 地区本部

### とさのさとへ出店 ユズやナスPR



とさのさと前で調理・販売する部員

青壮年部と女性部は10月19日、とさのさとへ出店し、ユズ皮入り塩焼きそばやなすぶうの餃子、なすまんなどを販売。美味しい香りに多くの人が集まり、全て完売しました。

来店客は「ユズ皮入りの焼きそばは珍しい。食べるのが楽しい」と笑顔で話しました。

青壮年部の都築功部会長は「今年はずみゆず祭りがなかったため、何かできないかと皆で企画した。人の集まる場所で、安芸地区のユズやナスのPRができて良かった」と出店を喜びます。

## 5 地区本部

### 徳島県の食と文化を堪能



阿波十郎兵衛屋敷で人形と一緒に記念撮影

女性部は10月26日、女性大学ときめき学園を開き、部員や地域住民19人が徳島県へ視察研修に行きました。研修では、JA東とくしまの産直市「みはらしの丘 あいさい広場」や阿波人形浄瑠璃を鑑賞しました。

あいさい広場のバイキングでは、旬の野菜をふんだんに使った郷土料理などを堪能。女性部員は「特産の美ナスを使った料理がどれも美味しかった」「地元にはない伝統芸能に触れることができた」と充実した一日を過ごしました。

## 6 信用共済部

### アンパンマンと交通ルールを学ぼう



楽しく交通ルールを学ぶ参加者

信用共済部とJA共済連高知は10月27日、田野町で「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」を開き、管内の保育園児や保護者など約370人が参加しました。「それいけ！アンパンマン」がステージに登場すると、子どもたちは大喜び。アンパンマンたちと信号や横断歩道の渡り方について、楽しく交通マナーや交通ルールを学びました。

信用共済部の高橋良和部長は「地域貢献活動の一環として、今後も続けていきたい」と話しました。

# えいのう〜



高品質・高収量の栽培管理

## ナス

12月になり、作物の生育環境の厳しい時期となります。「収量・品質の維持」による所得向上を目指すためにも、以下の栽培管理ポイントに注意しましょう。

### 整枝・摘葉・光環境

赤果、青べた果を発生させないために二重内張りを開ける、側枝の1芽切り戻し、ふところの重なる部分の適宜摘葉などを行い、採光性、風通しの確保をしましょう。※病害株は適時ハウス外に持ち出し適正に処分しましょう。

### 灌水・追肥

灌水は1〜3日ごとを目安とし、成り込んだ場合は、一回量を少なくして、こまめに灌水しましょう。

灌水量は日射量が少なくなるため、徐々に少なくなります(日射比例)。

追肥は液肥として、灌水のたびに10アール当りチッソ成分量で0.4〜0.7kgを目安に施用をしましょう。

置肥はガス障害を起こしやすい時期なので、施用量に注意しましょう。

※一回量で10アールあたりチッソ成分量3kgまでを目安。

### 病害対策

黒枯病・すずかび病・ナスフザリウム立枯病に注意しましょう(必須対策)。

### 苦土欠対策

発生初期から水200Lに1kgの硫酸マグネシウムを10日ごとに葉面散布をしましょう。

### 保温対策

ハウスサイドは保温資材で被覆して、すきま風(入口、天窗)が入らないように気密性を高める、加温機の効率を高めるため定期的な整備点検、天候と作物に合った夜間の変温管理などの適正温度の確保、省エネ対策をしましょう。

### 凍傷害防止(市場事故)

凍傷害(ヒッティング)発生防止のため、収穫後の果実は7℃以下の低温に遭遇させないようにしましょう。出荷時など、収穫物に風を当てないようにマット、毛布で覆いをするなど、管理を徹底しましょう。



安芸営農経済センター 営農指導課 中芸ブロック 倉澤 清志

収穫期以降の管

## カンキツ

ポンカンでは収穫が終盤となり、土佐文旦では間もなく収穫を迎えます。収穫作業中の事故や体調管理などは、十分に注意しましょう。

### 越冬害虫の防除

ダニ類やカイガラムシ類等の防除は、次年度の発生源となる越冬害虫の密度を低下させるための作業が重要です。カイガラムシ類は、卵や虫体が口吻物質を中心とした被覆物質により覆われているため、通常の薬剤を散布しても薬剤が本体自体にかかりにくく、防除が困難となります。

冬マシンの油の散布は、他の殺虫剤と違って薬剤抵抗性がついたダニ類等の害虫やカイガラムシ類等の難防除害虫にも効果が高いので、散布ムラがないよう、丁寧に葉の裏まで十分な量を散布しましょう。

収穫後から1月中旬頃までに散布できなかった場合は3月頃にアタックオイル等の高度精製マシンの油を散布して下さい。樹勢が弱っている場合は、落葉を助長することがあるので注意しましょう。

土壌分析の活用

カンキツの生産は園地の環境条件や気象条件が大きく影響しますが、土壌条件も生産力や品質に関わっています。園地の土壌pHの測定は、土壌改良の基本となる苦土石灰の施用量の目安となりますが、pHが適正な範囲内にならず、樹体の生育や微量要素の吸収に大きく影響します。適正な土壌pHに改善する為、土壌分析を活用しましょう。

分析用の土は、肥料を施用する園地ごとに採取します。園地の3〜5ヶ所から表土を数cm除いて、その下約20cmの土壌を掘り取り、一つのビニール袋に入れます。分析は随時受付けていますので、近くの支所まで持参して下さい。

10a：苦土石灰施用量	
pH	施用量
6.5以上	施用しない
5.5~6.5	100kg
4.5~5.5	160kg
4.5未満	220kg



安芸営農経済センター 営農指導課 山影 学

# 「ハウス内の湿度制御による病害防除」

鈴木 健太郎

振興センターだより

安芸農業振興センター 088713410138

### はじめに

安芸管内では近年、ナス黒枯病の発生が拡大しています。黒枯病はハウス内の菌密度が高くなると果実に水疱症を引き起こし、大きな減収要因となります。一方、県農業技術センターの試験ではヒートポンプを用いてハウス内湿度を低下させることで黒枯病の発生を抑制できることが報告されています(2016)。しかし、ハウス内湿度を制御した管理を実施している生産者は安芸支部園芸部園芸研究会ナス部会においてまだ28%と少ないことから、妙見山の影響により厳寒期に内張を早めに閉めるため相対湿度が長時間高いことが想定される安芸市高台寺・一ノ宮地区を中心にハウス内湿度を低下させ黒枯病を防除する取り組みを始めた。

### 湿度制御実証の結果

湿度制御の実証として、ヒートポンプ稼働、熱交換型除湿機稼働、加温機稼働+換気の3力所を設置し、10月から31園芸年度の病害発病度の推移や除湿にかかる経費を調査しまし

た。各実証ともハウス内の湿度制御が可能な4月まで黒枯病の発生を抑制できたことから、湿度抑制は黒枯病を防除する上で有効な手段であることが分かりました(図1)。しかし、年間の稼働経費を比較するとヒートポンプ稼働ハウスでは他の除湿方法に比べ、ランニングコストが大幅に上昇してしまうことが分かりました(表1)。また、熱交換型除湿機についても稼働経費は低いものの導入にかかるインシヤルコストは10aあたり150万円かかります。そこで、より安価に推進するには生産者が既に導入している加温機の稼働と換気を組み合わせてハウス内を除湿する方法が有効な手段であると考えられました。



加温機



換気

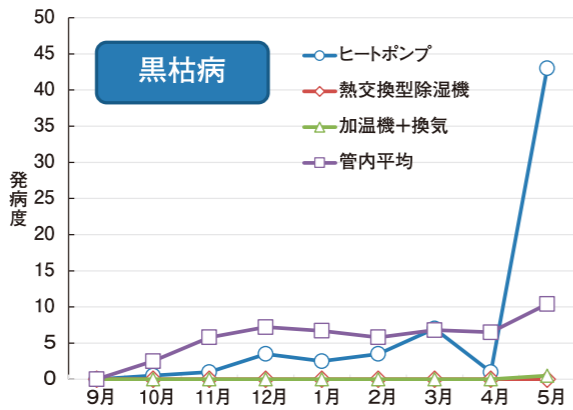


図1 各実証の黒枯病発病度の推移

	重油使用料	電力料	計
ヒートポンプ実証ハウス	26.6	66.1	92.7
熱交換型除湿機実証ハウス	42.5	6.8	49.3
加温機+換気実証ハウス	51	-	51

※単位は万円。重油単価を85円/Lとして計算。

表1 10aあたりの重油使用料・電力使用料

### 管内への普及について

前述の安芸市高台寺・一ノ宮地区で平成31園芸年度に病害発生調査を30戸に実施しました。令和元年5月に最終調査し、湿度制御実施者は未実施者に比べて黒枯病の発病を抑えている結果となりました。これら実証や高台寺・一ノ宮地区の取り組みを管内各部会で発表した結果、安芸支部園芸部園芸研究会ナス部会における湿度制御実施者が28%→51%に向上しました(平成31年2・3月営農相談アンケート結果)。

### さいごに

令和2園芸年度も湿度制御による病害防除を部会や個別巡回等で継続していきます。また、従来の防除方法である暦通りの薬剤散布や罹病葉の持ち出しとの組み合わせによる防除効果、重油使用量の採算ライン等についても検証を重ねていきます。詳しくは安芸農業振興センターまでお問い合わせください。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

# みんなのひろば

10月号の「土佐あかうし」は可愛すぎて、撫でてあげたくくなります。テレビで見ているから、一層表情の穏やかさに惹かれました。ですから、なかなか食べられないのです。

(東洋支所・62歳)

▼先日、取材で初めて土佐あかうしを近くで見ましたが、黒い瞳が本当に可愛かったです！

大葉がお茶になるとは思いませんでした。ビックリです。

(安田支所・56歳)

▼大葉茶気になりました！シソジュースとが大好きなので、ぜひ飲んでみたいです。

花のある暮らしで、上品な高知生まれの八重咲きのユリを初めて見ました。また珍しい花があれば、教えてください。

(あき支所・83歳)

▼10月号のノーブルリリーは、とても反響が良かったです。ミントグリーンが綺麗で、形もかわいいですね。

ノーブルリリー、是非見てみたいと思いました。いつも知らないことを発見できるので、楽しみにしています。

(あき支所・33歳)

▼「まごぐり」になってから、他地区の情報に触れる機会が増えました。みなさんの、新しい出会いの場になればうれしいです。

広報誌の内容が充実しているので、家族で回して読んでいます。

(室戸支所・75歳)

▼ご家族で愛読いただき、ありがとうございます！リクエストや感想などあれば、どしどしお寄せください。

台風19号で、リンゴやイチゴなど様々な農作物が被害を受け、心が痛いです。大切に育ててきて、一夜にして何もかもダメになり、政府も早急に復旧に取り組んでほしいです。

(あき支所・55歳)

▼まずは人命第一ですが、やはり農作物などの被害を見るのは辛いですね。農家さんの気持ちを考えると、言葉が出ません。台風が来るたびに、被害がでないことを祈るばかりです。

何を食べても美味しい季節になりました。これからも、いろいろな美味しいものを載せてください。

(室戸支所・65歳)

▼何を食べても美味しい季節！まさにその通りですね。これからも読んでいって、お腹が空く広報誌を目指します！

## 広報のつぶやき

室戸市吉良川町でソバを栽培していることは、ご存じでしたか？今月の13ページでも紹介しましたが、地元の庄毛ファームさんが、そばを町の特産品にしようと、栽培からそば作りに取り組んでいます。

「そば花まつり」では、白や赤のそばの花が満開で、とってもきれいでした！訪れたお客さんも綺麗な風景と美味しいそばに、大喜び。珍しい赤いそばの花にも、写真を撮ったりと見入っていました。吉良川町といえば、そば！と覚えてもらえるよう、地域の人たちは頑張っています。ぜひ、みなさんで応援しましょう！

早いもので、今年ももうすぐ終わり。今年も愛読いただき、ありがとうございます！素敵な年をお迎えください！

(竹村)

## 「とさのうと」ポンカン号発刊

JAグループ高知が発刊する季刊誌「とさのうと」の12月号はポンカンの特集です。県内最大のポンカン産地、東洋町の生産者さん取材しました。あっと驚くポンカンレシピも満載！ぜひ手に取ってご覧ください。

「とさのうと」はJA各支所や直販所、とさのさとなどで配布しています。



## 税務相談日

日 時 12月18日(水)・令和2年1月21日(火)

会 場 あき支所3階

時 間 10:00～16:00

問い合わせ 安芸地区本部 企画組合員課  
0887-34-1515

## INFORMATION

# お知らせ



## 第3回 JA高知県安芸地区女性部マルシェ

地元の食と農を知ってもらいたい！そんな思いを込めて、女性部員の愛情たっぷりのグルメが各支部から大集合！マルシェで使えるお得なチケットを、各支所で販売します。



日 時 令和2年1月18日(土)  
10:00～14:00(雨天決行)

場 所 あき支所 北側駐車場

販売予定 こけら寿司、田舎寿司、イモ天、ナスのパウンドケーキ、山芋汁、なすのたたき、なすまん、なすぶうの餃子、新鮮野菜など多数  
※内容は変更になることがあります。

問い合わせ 安芸地区本部 企画組合員課  
0887-34-1515